

小2国語 出題のねらいと対策

1 かん字の読みとり 97.5%

ねらい：漢字の正しい読み取りができるかを問う。

分析と対策：(4)「歌」は「校歌」の場合は音読みになることに注意させてください。

2 かん字の書きとり 85.6%

ねらい：漢字の正しい書き取りができるかを問う。

分析と対策：一画一画をていねいに書くように指導してください。とめ・はね・はらいなどは、新しい漢字が出るたびに注意させてください。

3 ていねいな言い方 83.3%

ねらい：常体と敬体とが正しく使い分けられるかを問う。

分析と対策：「です」「ます」について、「でし(た)」「まし(た)」、「でしょ(う)」「ましょ(う)」などと、後に続くことばによって形が変わることに注意させてください。また、(3)「うてなかった」を「うてませんでした」と表す場合のように、「ます」と「です」を組み合わせる言い方があることも指導してください。

4 主語とじゅつ語 56.7%

ねらい：「何が・どうする」「何が・どんなだ」「何が・何だ」という文の基本的な形の理解を問う。

分析と対策：主語と述語をつなげると意味が通る文になることを、選択肢のことばを一つずつつなげて確かめさせてください。

5 音やようすを表すことば 85.8%

ねらい：擬音語と擬態語について、その違いが理解できているかを問う。

分析と対策：擬音語と擬態語の違いは、実際にそのような音が出ているかどうかの違いです。(1)「はっぱがザラザラしている」の「ザラザラ」は、実際にそのような音が聞こえるわけではないので、様子を表すことば(擬態語)です。(2)「かみなりがゴロゴロ鳴っている」の「ゴロゴロ」のように、音を表すことばは、実際にそのような音が聞こえるかどうかを確かめさせてください。

6 せつ明文の読みとり 51.9%

ねらい：語句の意味や、文章の内容が正しくとらえられているかを問う。

分析と対策：ひまわりの花が太陽の動く方へ向きを変えるという一般的にいわれている話を、実際に筆者が検証した文章です。(1)では、ひまわりがどういう花であるかという前提をおさえて、(2)(4)で太陽の一日の動き方がどのように見えるかをとらえます。実験の結果、花は太陽の動く方へ向きを変えませんが、苗はその性質があることが述べられています。(6)の内容一致問題は、選択肢の一つひとつを本文と照らし合わせて、どの部分が本文と合っていて、どの部分が合っていないかを確認させてください。

全体の平均点は71.2点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。